

市政に関する

一般質問

要旨

第4回定例会では、19名の議員が質問を行いました。質問は、インターネット上で録画をご覧いただけます。

YouTube 多摩市議会 で検索してください。

発言の全文を記載した会議録は3月上旬以降、市内の各図書館や多摩市の公式ホームページでご覧いただけます。



「越冬」
撮影者：manamiさん(市内在住)
撮影場所：瓜生せせらぎ散歩道



各議員の動画はこちら



多摩市議会会議録検索システム



中島律子 (あすたま・女性の力)

1. 心身障がい者日常生活用具について
2. 障がい児童の学童申請要件について
3. 選挙について

問 療育手帳や障害福祉サービス受給者証等をお持ちで、用具の使用により療育効果が見込まれる方に、言語訓練や認知訓練等が可能な製品を日常生活用具の給付対象としている自治体がある。自閉症・発達障がい・知的障がいなどのある方で言葉での表現や理解が難しい方への支援として、多摩市でも給付を検討していただけないか。

答 他市の状況等を踏まえながら研究を進めていく。

問 現状の申請要件では通常学級に通う障がいのある児童は4年生までしか学童の利用申請ができない。合理的配慮の観点においても手帳の保持等も十分考慮していただき、障がいのある全ての児童が5年生以降も申請ができるよう要件の見直しを早急にすべきと考えるがいかがか。

答 速やかに調査を行い制度の見直しを図る。

問 投票率を上げるために、立候補者の情報が市のホームページで検索できるよう工夫できないか伺う。

答 来年4月の市長選挙・市議会議員補欠選挙より選挙公報を市のホームページに掲載する。



きりき優 (自民党)

1. 外国人との地域共生について
2. 多摩市屋外スポーツ施設管理更新計画の進捗状況と酷暑対策について

問 外国人の人権は日本人と同様に保障されるものか。

答 日本人と全く同じ権利が保障されるものではない。

問 外国人との共生社会実現に向けて重要なものは何か。

答 相互理解を進めると共に、外国人の方にも日本の地域社会の一員として生活するためのルールを理解し守ってもらいながら地域になじんでいただくことが重要。

問 文化や風習が異なり言葉も通じない外国人に不安を覚える市民に対し「ヘイトだ」「寛容さが足りない」など正論の押し付けで片付けるのではなく、市民の不安にも寄り添いながら共生社会について議論を進めるべきでは。

答 タブー視することなく議論できる社会をめざしたい。

問 市議会議場に国旗市旗の掲揚がないことの見解を伺う。

答 市では掲揚する規定を定めているが、市議会議場での取り扱いについては多摩市議会でも主体的に考えてほしい。

問 スポーツ施設のナイター設置や早朝利用を進めてはいかがか。

答 日除けシェルターや更衣室設置の検討などを進め、夏季でも市民が安全にスポーツできる場を確保していきたい。



橋本由美子 (日本共産党)

1. 保険料に上乗せ子ども子育て支援金
2. 永山駅北口歩道橋の再建を早期に
3. 諏訪永山にコミュニティの場所を

問 来年4月から医療保険料に上乗せになる子ども子育て支援金の額が明示されていないのは問題ではないか。

答 国から明示されていないが国保税にも付加される。

問 負担増にならないためにも国民健康保険税の引き上げは実施すべきではないと考えるがいかがか。

答 加入者の負担感や物価高騰など、市民への影響は考慮したいと考えている。

問 永山駅から日本医科大学の病院やUR住宅への歩道橋撤去は、利便性を低下させる。再建への見通しを伺う。

答 不便さは理解するが、民間の土地の歩道橋であり、UR等周辺地権者とも相談し解決策を考えたい。

問 諏訪市民ホールが来年秋閉館される。整備される諏訪会館だけでは、利用者の要求に応えられない。諏訪・永山地域にコミュニティの場を確保すべきではないか。

答 諏訪・永山地域にコミュニティ施設が必要と市も認識している。周辺は今後住宅の建替えが進むので、その中で場所や形態も市民とともに考えていきたい。

